

回復期リハビリテーション病棟入院料における診療実績等の掲示

当院の回復期リハビリテーション病棟では施設基準に基づき以下の通り診療実績を公表しております。

3 東病棟

1. 退棟患者数および区分別内訳（直近3ヶ月）

算出期間： 2026年7月 ~ 2026年9月

回復期リハビリテーションを要する状態の区分（別表第9の2）		退棟患者数
①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、脳腫瘍等の発症後又は手術後の状態	14名
②	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節等の骨折又は手術後の状態	24名
③	外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群の状態	0名
④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節等の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	0名
⑤	股関節又は膝関節の置換術後の状態	10名
⑥	その他（急性心筋梗塞、脳血管疾患等の高次脳機能障害など）	4名
合計		52名

2. リハビリテーション実績指数（直近6ヶ月）

算出期間： 2026年4月 ~ 2026年9月

実績指数： 45

3 西病棟

1. 退棟患者数および区分別内訳（直近3ヶ月）

算出期間： 2026年7月 ~ 2026年9月

回復期リハビリテーションを要する状態の区分（別表第9の2）		退棟患者数
①	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、脳腫瘍等の発症後又は手術後の状態	15名
②	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節等の骨折又は手術後の状態	27名
③	外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群の状態	0名
④	大腿骨、骨盤、脊椎、股関節等の神経、筋又は靱帯損傷後の状態	3名
⑤	股関節又は膝関節の置換術後の状態	17名
⑥	その他（急性心筋梗塞、脳血管疾患等の高次脳機能障害など）	7名
合計		69名

2. リハビリテーション実績指数（直近6ヶ月）

算出期間： 2026年4月 ~ 2026年9月

実績指数： 54.11

※実績指数

厚生労働省が定めた指標で、入院期間中にどれだけ効率的に日常生活動作（ADL）が改善したかを示す数値です。この数値が高いほど、質の高いリハビリテーションを提供していると評価されます。